

令和3年度 事業報告書

特定非営利活動法人
ディープデモクラシー・センター

I. 令和3年度の重点方針

当法人の7年目の年度となる令和3年度は、一昨昨年（令和元年）房総半島台風、一昨年からの新型コロナウイルスの感染拡大の影響もあり、事業の規模、種類ともに、これからのあらたなスタートの年ととらえて、下記の重点方針のもと活動を進めてまいりました。

1. 特定非営利活動法人として運営基盤の強化

特定非営利活動法人としての運営基盤の強化を最優先とし、円滑な運営体制の実現を目指し、理事体制＝事務局体制のさらなる安定化を進めるべく、ICT等を活用した緊密な連絡網、情報提供網の構築をすすめました。

2. 支援の現場づくりのさらなる推進、支援者の育成

生活困窮者支援、路上生活者支援、障がい者の場づくりなど、前年度に展開してきた支援の現場をさらに安定的なものとし、さらに、そこに関わる人材の育成にも注力しました。

3. 福祉サービスの実施

視覚障害者（児）の外出支援（＝同行援護）、知的障害者（児）（＝地域支援事業・移動支援）、松戸市・介護予防・日常生活総合支援事業（元気応援サービス）を実施しました。

4. 千葉南部災害支援センターの活動と災害支援ネットワークちば（CVOAD）の立ち上げ

長期化する支援を地域で担っていくための民間のプラットフォームとして、「千葉南部災害支援センター」として、今なお取り残されていく被災者の支援活動を実施しました。また、今後の災害に備えた県域の災害支援ネットワーク「災害支援ネットワークちば（CVOAD）」の立ち上げを呼びかけ、副代表理事の加納が代表に就任しました。

5. 「ちば居住支援センター」の活動と自立準備ホームの開設

昨年4月に千葉市中央区に開設したちば居住支援センターとしての居住支援の業務を実施しました。令和3年度は、あらたに更生保護の取り組みをスタートさせ、自立準備ホームを設置し、刑余者の生活再建のサポートを実施しました。

II. 令和3年度の事業活動（令和3年1月1日～令和3年12月31日）

1. セミナー、講座、イベント等の開催

○ときわだいら0円マーケット

2021年11月26日（土） ときわだいらくらしラボ

○まつどスープキッチン（食料配布と相談会）

2021年12月29日（水） 松戸中央公園

Ⅲ. 令和3年度の運営

1. 理事会

第1回通常理事会

開催日時 令和3年3月25日 オンライン

第2回通常理事会

開催日時 令和3年6月22日 ときわだいらくらしラボ

第3回通常理事会

開催日時 令和3年12月21日 ときわだいらくらしラボ

Ⅳ. 会員の状況

正会員	13名
一般会員	21名
賛助会員	0名